

公益財団法人 J K A 「 2 0 2 1 年度 福祉車両の整備補助事業」

による「福祉車両の整備」の自己評価報告書

評価会開催日：令和4年9月16日（金）

評価参加者：5名（施設長・送迎担当職員3名・事務員1名）

補助事業に係る評価会を開催しましたので、以下の通り報告いたします。

1. 導入過程

補助金の交付決定から、申請・入札と順調に進み、予定より早く8月8日に納車することができた。

2. 運行件数

ショートステイ・デイサービス・病院の入退院で使用した。

	運行日数 (日)	利用者数(人) ※1	利用回数(回) ※2	運行距離(km)
8/9～9/15	12日	43人	29回	251km

※1：運転手や介助者は含まない延べ人数

※2：送迎は往路復路それぞれ1回と数える（1往復で2回）

3. 広報活動

当法人のホームページや10月発行の機関誌にて利用者家族や県内の特別養護老人ホーム、公的機関等に広く広報する予定である。

4. 職員評価

- ・利用者様から「飛沫防止シートが設置してあるので、安心感がある」との声が聞かれた。
- ・施設にある大型車より小型であるため、女性職員が運転しやすい。運転担当職員以外の女性職員でも送迎、病院の入退院や外出レクリエーションに参加しやすくなった。
- ・車にステップがあるため利用者様が乗降しやすいが、ステップは100kg以上の負荷がかかると壊れるため、職員に乗降の際には注意するよう伝える必要がある。
- ・運転席と車椅子の距離が近いので、運転者・利用者様ともに安心感がある。
- ・振動が少ないので、利用者様の身体にかかる負担が少ない。
- ・ショートステイの受入を中止していた期間もあり、想定していたよりも稼働率が低かった。車の使い方を職員に伝え、利用率の向上に努める。